

(6) 栄養教諭部会

会 長 谷山 なつこ (中村南小)
副会長 岡本 恵子 (東山小)
事務局 大原 景子 (具同小)

1. 研究主題 「安全・安心な学校給食の実現に向けて」

2. 研究の実績

実施年月日	研究のあらまし	会場
4 月 23 日 (火)	・ 給食主任会にむけて	スクールミール なかむらみなみ
5 月 7 日 (火)	・ 組織、計画	中村中
5 月 31 日 (金)	・ 7 月、8 月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
6 月 27 日 (木)	・ 養護教諭との合同研修会	中村西中
6 月 28 日 (金)	・ 9 月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
7 月 26 日 (金)	・ 食事摂取基準について ・ 食生活調査集計	スクールミール なかむらみなみ
9 月 27 日 (金)	・ 朝ごはんコンテスト審査 ・ 11 月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
10 月 25 日 (金)	・ 12 月の献立交換 ・ 給食大会について	スクールミール なかむらみなみ
11 月 29 日 (金)	・ 1 月の献立交換 ・ 給食大会の振り返り ・ 全国学校給食週間中の取り組みについて確認	スクールミール なかむらみなみ
12 月 20 日 (金)	・ 2 月の献立交換 ・ レシピ集・デザートバイキングについて	スクールミール なかむらみなみ
1 月 31 日 (金)	・ 3 月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
2 月 21 日 (木)	・ 4 月の献立交換 ・ 今年度の反省 ・ 来年度の計画	スクールミール なかむらみなみ

3. 主な取り組み内容

(1) 食生活調査

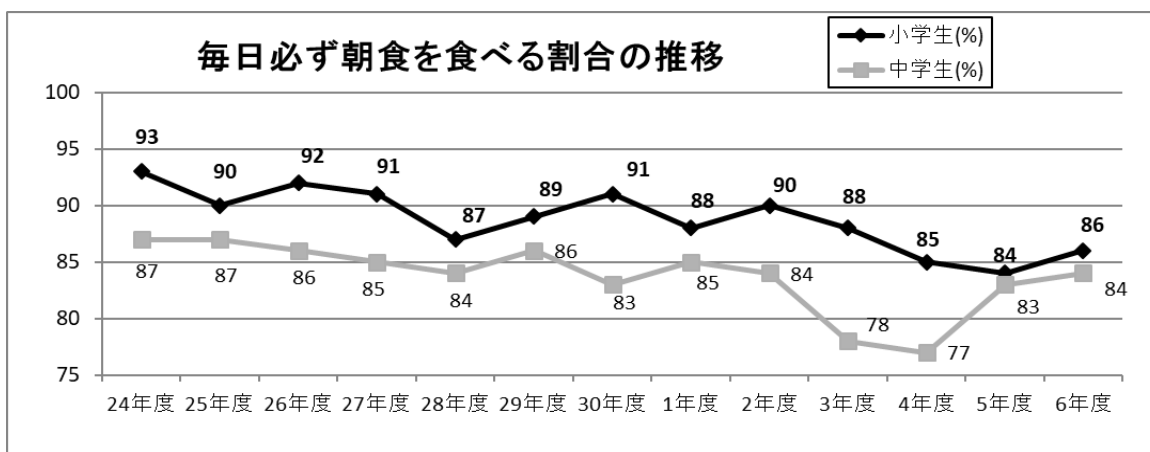
対 象 : 小学校 5 年生 252 名 、 中学校 2 年生 248 名

期 間 : 6 月 11 日～13 日のうち 1 日

内 容 : 朝食の摂取状況、朝食の食事内容等

情報発信 : 「給食だより」(市内小中全員)

結 果 : 昨年度と比較すると、小中学生ともに、毎日必ず朝食を食べる割合は増加傾向が見られた。しかし、朝食の内容を見てみると、「1 品だけ」と回答している割合が小学生では 25%、中学生では 35%と多く、栄養バランスの取れた朝食の摂取については課題が見られる。



(2) 朝ごはんコンテスト

目 的：食生活調査から見える現状（朝食摂取率目標値未満、単品摂取率の増加）や、朝ごはんの大切さ等から、朝の忙しい時間でも栄養を効率的にとることができるような朝ごはんのメニュー作りを題材にコンテストを実施し、自らの力で朝ごはんを準備する力を育ませ、朝食でのバランスのとれた食事内容について関心を高める。

対 象：四万十市内の小学5年生、6年生および中学生

内 容：自らの力で、朝ごはんにぴったりの主食、おかず、みそ汁を作る。

応募数：521点

結 果：優れた作品を選出し、給食の献立として12月以降に取り入れる。

入賞者には賞状を授与するとともに、給食だより及び放送資料で紹介する

(3) アレルギーショックにおける緊急対応

食物アレルギーショックの緊急時の活用を想定した「アクションカード」を活用するために、以前よりアクションカードを活用したシミュレーション研修を実施している中村西中学校で、消防や医師とも連携したシミュレーション研修を見学した。また、養護教諭部会に栄養教諭も参加し、中村西中学校の養護教諭を講師として、どのように研修を進めていけばよいか講話をしていただいた。その後、栄養教諭が所属する学校では、シミュレーション研修を実施した。

4. 成果と課題

○昨年に引き続き、朝ごはんコンテストでは、各校から多数の応募があった。工夫点に多くの記入があり、よいものを作りたいという熱意や努力が感じられた。家庭科の学習として取り組むなど、各学校での朝食の重要性についての指導にもつながった。

○シミュレーション研修について学び、所属校で実践することができた。

●食生活調査の結果では、小学生、中学生ともに昨年度よりは毎日必ず朝食を食べる割合が増加したが、四万十市教育振興基本計画の目標値は達成できていない。朝ごはんコンテストの実施や給食献立、給食放送の内容を工夫し継続して啓発は行っているが、今後も給食指導や食育授業の内容、指導方法について研究を深めていきたい。

●食物アレルギーショックの緊急時にどの学校でも対応ができるようにするためには、各校での継続的な校内研修の実施が必要である。消防署との連携方法等を、今後も養護教諭と連携を図りながら考えていきたい。